



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2013 **10**



8月26日(月)、兵庫県協同組合連絡協議会(=兵庫JCC)は、創立30周年を記念して、次世代交流をはかる「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考えるつどい」を開催。生協・JA・JF・森林組合の各団体から36名が参加し、意見交流や森林組合の講義のほか、JFのせり市、JA直売所、コープこうべ・協同学苑 史料館の視察を行った。(関連記事P.3)



神戸医療生活協同組合 理事長

道上 哲也  
(みちがみ・てつや)

## 35年目の課題は……

私は医師になり35年が経ちました。そのほとんどを神戸医療生活協同組合で過ごしてきました。

この間の医療は医学の進歩のみでなく、社会情勢の変化に大きく影響を受けてきました。なかでも1983年の高齢者の医療費自己負担導入に始まる医療制度の改悪の波をまともに被り苦勞をしてまいりました。その厳しさは現在も続いており、これからは特に消費税増税が心配です。

一方で大切な教訓も数多くありました。その一端をご紹介します。

「医療従事者として、生協人として、困った時には……」

その一つ、「患者さんの家を訪ね、生活を知ること」です。

このようなことがありました。認知症のひとり暮らしのお年寄りです。心臓が悪くて何度も入院を繰り返されていました。「どうしてだろう」と疑問に思い看護師とともに自宅を訪ねると急な階段の3階で生活をされていました。風呂は銭湯、買い物は近くのスーパーへ、一日に何度も階段を往復します。

心不全を起こしても当たり前前の生活でした。私たちは方針の変更をカルテに書きました。「処方引越し」です。それからはこの方は入院することがなくなりました。

もうひとつの教訓は「一人で悩まない、みんなと相談すること、できるだけ相談の範囲を広げること」です。

数年前に経営困難に陥ったとき、力になったのは組合員からの励ましであり、職員の団結の力であり、仲間の医療生協からのアドバイスでした。その中から神戸協同病院の回復期リハビリ病棟が生まれました。今あらたに組合員と職員の協同で「緩和ケア病棟」の開設にむけての運動が始まっています。できる限りの力と知恵で実現したいと思います。

私も健康であるかぎり医療生協のために頑張る決意ですが、課題は後継者づくりです。

生協の仲間の皆さまからのご支援を引き続きお願いいたします。

## CONTENTS

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| 2. 想点  | 5. 単協通信 神戸市民生活協同組合／<br>たじま医療生活協同組合   |
| 3. 兵庫JCC創立30周年記念<br>「ポスト国際協同組合年を考える集い」報告／<br>「第25回近畿地区生協・行政合同会議」報告 | 6. 協同組合のかけ橋                          |
| 4. 「監事研修会」のご案内／<br>兵協連「第1回東日本被災地支援活動」報告                            | 7. 兵庫県のページ                           |
|  | 8. 兵庫県からのお知らせ／赤い羽根共同募金／<br>県連日誌／編集後記 |

協同組合の仲間が交流

# 「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」を開催

県下の生協・JA（農協）・JF（漁協）・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）は、1984年に設立され創立30周年。これを記念して、8月26日（月）、各協同組合の事業と活動を学び、次世代の職員が集い、顔の見える関係を築くことを目的に「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」を開催、36人が参加しました。JFのせり市（明石浦漁協）、JA直売所（六甲のめぐみ）、コープこうべ協同学苑 史料館の視察を行い、同学苑内で森林組合の活動紹介の講義のあと、本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中でテーマに沿った対話を行う「ワールドカフェ」という形で、これからの協同組合についての意見交流を行いました。

参加者からは、「お互いの事業と活動を知ることができた」「協同組合の垣根を越えて、組合員や地域に貢献していきたい」「これからもこのような交流を続けたい」などの意見が寄せられました。



JFのせり市（明石浦漁協）



JA直売所（六甲のめぐみ）



森林組合の活動紹介



コープこうべ協同学苑史料館の視察

## 「第25回近畿地区生協・行政合同会議」報告

# テーマ：「協同組合がよりよい社会を築きます ～ポストIYC（＝国際協同組合年）の取り組みについて～」

8月30日（金）、「第25回近畿地区生協・行政合同会議」がホテルグランヴィア和歌山（和歌山県和歌山市）にて開催されました。この会議は、福井・滋賀・奈良・和歌山・兵庫・京都・大阪の近畿2府5県の府県連生協連で構成する「近畿地区生協府県連協議会」の主催により開催。地域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、生協と行政のパートナーシップを深めることを目的とし、本年度25回目を迎えました。当日は、厚生労働省近畿厚生局健康福祉部をはじめ、日本生協連、近畿地区2府5県の生協行政担当者および生協連役職員の合計42名が参加。全国生協の概況、東日本大震災復興支援、高齢者支援活動への期待、ポスト国際協同組合年の取り組みや生協の再生エネルギーへの取り組みなど、テーマに沿った報告と質疑が行われました。



また、「花王の環境へのとりくみ」をテーマに、花王㈱研究主幹・花王エコラボミュージアム 妻鳥正樹館長が特別講演。花王の経営戦略と高齢化社会への対応や花王の源流と企業理念、よきモノづくりの姿勢、企業としてめざしていることなどの報告がありました。さらに今回は講演に先立ち、オプション企画として「花王エコラボミュージアム」の見学を行い、22名が参加しました。

次に、和歌山県総合防災課 河端貴裕 副主査による「和歌山県の防災・減災」、なら消費者ねっと 辻由子 事務局長による「消費者ネット設立と初年度の活動」、兵庫県生活協同組合連合会 三宅康平 専務理事による「会員生協の被災地支援のとりくみ」、消費者支援機構関西 二之宮義人 常任理事による「適格消費者団体KC'sの活動」についてそれぞれ報告が行われ、引き続き開催された懇親会では情報交換を含め、貴重な交流の場となりました。

## 2013年度 第16回「監事研修会」のご案内

2013年度の「監事研修会」は、監事のみなさまに「監査実務」や「監査のポイント」を中心に実施いたします。会員生協の理事、監事、担当職員のみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。



2012年度 監事研修会

- 日時：11月7日(木) 13時30分～16時  
会場：兵庫県民会館 3階 303号室  
定員：50人(申し込み先着順)  
対象：会員生協の監事および理事、ならびに担当職員  
内容：◆講演

「監事・監事会の役割と指導検査で見受けられる問題点」

講師：兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課

「決算書の見方と監査のポイント」

講師：兵庫県生協専門検査員 藤田 隆大 氏(税理士・公認会計士)

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 TEL (078) 391-8634

## 兵協連「第1回東日本被災地支援活動」報告

会員生協の尼崎医療生協と神戸医療生協は、発災以来、宮城県山元町を中心に継続的な生活支援活動、地域コミュニティの復旧、復興をめざして活動しています。兵庫県生協連では、9月20日(金)～21日(土)、山元町仮設住宅での支援活動に、コープこうべ 福井 沙織さん、宝塚医療生協 岡本 絵美子さん、姫路市民共済生協 大塚 泰生さん、事務局の兵庫県生協連 三宅 康平 専務理事の4名が参加しました。

20日夜、出発。尼崎医療生協が職員を派遣している「みやぎ虹の架け橋復興支援センター」に到着したあと、常駐されている尼崎医療生協 課長 山口 寛さんと翌日の打ち合せを行ない、被災地支援の取り組み DVD を鑑賞、これまでの支援活動について学びました。



健康チェックのあとはミニゲームを楽しみました



みやぎ県南医療生協の方々と一緒に活動しました

翌朝、山元町の旧 JR 山下駅、中浜小学校を視察。大阪きづがわ医療福祉生協からの支援活動チーム37人と合流し、各仮設住宅での健康チェック・体操・茶話会に兵庫県生協連の4人は分散して活動しました。午後は山元町花釜地区の被災者宅に約40人が集合。みやぎ県南医療生協の「男の料理教室」に合流し、焼き秋刀魚などをいただき、みやぎ県南医療生協理事 岩佐年明さんから震災当時のお話を伺いました。その後、居住禁止区域に指定されたエリアのある仙台市若林区荒浜、名取市閑上を視察し帰途につきました。参加者からは、「浸水や塩害という被害もあり、現地の方が津波の被害を“水害”と表現されていたことが印象に残りました。お話をさせていただいたからこそ、気づく視点があった」「今まで気づかなかった問題や現状が分かり、これからの情報にも敏感になれる。これが“現地へ行く”意義だと思う」「本当に自分が役に立つのか?」と思っていたのですが、『遠いところから来ていただき本当にありがたい』と言っていただき、交流も十分支援になるのだと感じました」など、息の長い支援活動を継続することの大切さを実感しました。

## 神戸市民生活協同組合

### 「地域の郵便局」で火災共済事業を紹介

7月から8月にかけて神戸市内の各郵便局内にて、火災共済の出張相談会を行いました。これは神戸市内の西区・須磨区・垂水区・長田区・灘区の郵便局内にて火災共済の説明会を行う一環のもので、神戸市民生協では初めての試みとなります。

当日は火災共済を紹介したパンフレットを配布したほか、簡単なアンケートに答えていただいた方にはミニプレゼントをお渡しするなど、積極的な広報活動を行いました。



立ち寄られた市民の方々からは「現在入っている火災保険と比較したいので、説明してもらえれば」「神戸市民生協の火災共済に加入していますが、内容を詳しく教えてほしい」などのご質問やお声がけをいただきました。

神戸市民生協では、市民の方々が多く来られる場所で説明会を開催することで、今後も地域の人々に親しみをいただいていたいただけるようなPRを続けていきたいと思えます。

(通信員 鹿田裕子)

## たじま医療生活協同組合

### 「第1回 バスツアー」

7月25日(木)、「第1回たじま医療生協バスツアー」が行われ、41人が参加しました。今回は鳥取方面への日帰り旅行で、行きのバスでは、「なかなか遠くに出かけられないから嬉しい」という声が聞かれました。まず「山陰海岸学習館」で、ジオパークの成り立ちを学びました。その後砂丘会館での昼食のあと、「砂の美術館」に行きました。今年は「東南アジアの遺跡」がテーマで、カンボ

ジアのア

ンコール

ワット遺

跡の砂像

もありま

したが、

砂を水で

固めただ

けとは思

えないよ

うな質感

と大きき

に、皆圧

倒されま

した。「鳥取県立博物館」を見学したあと、賀露港等で海産物の買い物を楽しみ、帰路につきまし

た。

ビンゴ

ゲームや

カラオケ

を楽しみながらの車中では、「楽し

かった」「次も行きたい」との声が

多く、早くも次回のバスツアーの仮

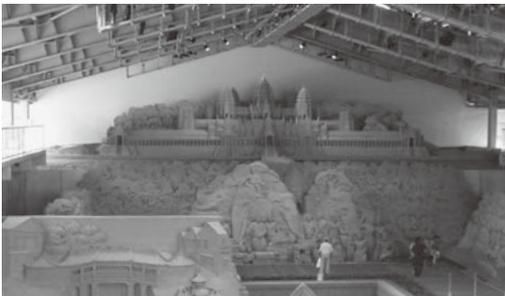
予約が入っていました。第2回のバ

スツアーも1日楽しく、ゆっくりと

過ごしていただけるような企画に

たいです。

(通信員 春木圭介)



JF

## 兵庫県水産振興基金

### 但馬地区の沖合底曳網漁業・ ベニズワイガニのカニカゴ漁が解禁 ～ 9月1日に一斉解禁 ～

9月1日(日)から但馬の主幹漁業である沖合底曳網漁業とベニズワイガニカゴ漁業が解禁となりました。

初セリは、9月2日(月)に但馬の各港（津居山・柴山・香住・浜坂・諸寄）で行われ、沖合底曳網で獲られたアカカレイ、ハタハタなどが次々に水揚げされるなか、浜は活気に包まれました。沖合底曳網漁では9月～10月はカレイ類・ハタハタ・ノドグロなどを中心に漁が行われ、11月6日(水)に解禁されるズワイガニ、3月～4月のホタルイカなど様々な魚種を対象に来年5月31日(出)まで漁が行われます。

また、9月4日(水)には香住西港でベニズワイガニの初競りが行われました。台風の影響で5隻の出漁となりましたが、近畿圏唯一の水揚げ港である香住港には報道陣の姿が多く見られ、こちらも活気に包まれました。

いよいよ始まった今漁期の操業安全と豊漁を祈念いたします。



ベニズワイガニの初セリには多くの報道陣が…



セリに活気づく柴山港の様子

JA

## JA グループ兵庫

### 懇話会で農業施策を 林農林水産大臣に要請

7月1日(月)「林芳正農林水産大臣との懇話会」がANAクラウンプラザホテル神戸で開かれ、県内の農林水産関係団体が出席し、林農林水産大臣に各団体が要請をしました。兵庫県選出の末松信介参議院議員の政経セミナーの開催に合わせて、林農林水産大臣が講師として出席したのを機に実現しました。

JA兵庫中央会の石田正会長は、肥育牛の防疫対策、生産資材の高騰対策、株式会社の農地取得の禁止、所得倍増戦略の具体策の明示について要請。「政府の産業競争力会議で株式会社の農地取得の解禁の議論が再燃しているが、地域農業を守るためにJAグループは断固反対である」などと強調しました。これに対して林農林水産大臣は「農地中間管理機構を軸として農地の利用集積を進めるか、株式会社についても農地はリース（賃貸借）方式によることが基本と考えている」と答えました。



林農林水産大臣（右）に要請する石田会長（左）



最近の消費生活相談事例

# 小学生がオンラインゲームで高額利用 ～親のクレジットカードを無断で利用。 支払いを拒否できるか。～

## 事例

小学生の子どもが無断で親のクレジットカードを利用して、オンラインゲーム上で有料サービスを利用し、クレジットカード会社から約15万円の請求が届いた。支払いを拒否できるのか。

## 【アドバイス】

オンラインゲームは無料で利用できるものが多く、携帯電話などでいつでも気軽に遊べるため、多くの未成年者がゲームを楽しんでいます。しかし基本的には無料であっても、その後のゲーム展開において有料のサービスを利用することも多いので、注意が必要です。

一般に、未成年者の高額利用においては、民法による「未成年者取消」を検討することになります。未成年者がお小遣いの範囲を超えて契約をするには、親等の同意が必要で、同意が無い場合は取り消すことができますからです。ただし、成人である等詐術を行った場合は取り消しが困難です。また、子どもが親のクレジットカードを無断で利用した場合、親がクレジットカードの管理責任を問われることもあり、必ずしも支払いを拒否できることにはならず、事情を個別に検討し事業者と交渉することになります。

兵庫県内の消費生活相談窓口寄せられる高校生以下の子どものオンラインゲームに関する相談は、毎年増加しており、2013年度4月～6月は33件で、2012年度同期11件の3倍に急増しています。また、親などのクレジットカードを無断で使用した相談は2012年度から2013年度（4～6月）の相談件数86件のうち57件で7割を占めています。

事業者の中には、未成年者に対する課金上限など一定の仕組みを設けていますので、ゲームの初回開始時には、生年月日等の利用者情報を正しく登録しましょう。またクレジットカード情報や携帯電話の利用者情報を登録した端末は子どもに貸さない等、厳重な管理を行ってください。また、普段から子どもとオンラインゲームの利用方法を話し合っておきましょう。

不明な点は、最寄りの消費者相談窓口へ相談してください。

(兵庫県生活科学総合センター)

# MOVE



兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課からのお知らせ



## 肝炎ウイルス検査をうけましょう!

国内のウイルス性肝炎の患者、感染者は300万人以上と推定されています。検査は採血で行います。詳しくはお住まいの市町にお問い合わせ下さい。



## 検診で5大がんを早期発見!

40歳以降の男女は	胃がん	胃×線検査
	大腸がん	便潜血検査
	肺がん	胸部×線検査
40歳以降の女性は	乳がん	視触診+マンモグラフィ
20歳以降の女性は	子宮頸がん	細胞診検査

お住いの市町担当課又は下記サイトへGO!

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw12/hw12\\_000000101.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw12/hw12_000000101.html)

## ピンクリボン運動って?

ピンクリボン運動は、アメリカの乳がんで亡くなられた患者さんの家族が、「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込めて作ったリボンからスタートした乳がんの啓発運動です。

10月第3日曜日は乳がん検査を受けられる

会場等の詳細はこちらのサイトから  
[http://jms-pinkribbon.com/jms\\_kns.html#anc04](http://jms-pinkribbon.com/jms_kns.html#anc04)

ピンクリボンフェスティバル2013 シンポジウム

○日時:平成25年10月19日(土) 13:00~16:00  
○会場:神戸国際会議場メインホール  
<http://www.pinkribbonfestival.jp/event/symposium/kobe.html>

## やさしさが 必ずとどく 赤い羽根



兵庫県共同募金会マスコット  
あかはねちゃん

**赤い羽根共同募金**  
10月1日(火)~12月31日(火)

集められた共同募金は、県内の地域福祉活動のために使われます。

また、募金の一部は積み立てられ、災害時の被災地・ボランティア支援に使われています。

あたたかいご協力をお願いします。

**社会福祉法人 兵庫県共同募金会**

[www.akaihane-hyogo.or.jp](http://www.akaihane-hyogo.or.jp)

## 県連日誌

10月4日(金)・5日(土) 兵協連

第2回「東日本被災地支援活動」(宮城県山元町)

10月7日(月) 兵協連 第3回理事会・

第1回貸付審査会・

第12回兵庫県健康福祉部と

兵協連理事会との懇談会

10月10日(木) 2013年度兵庫県生活協同大会

(県民会館 けんみんホール)

## 編集後記

仕事に追われているときも、楽しい休日も「あっ!」という間に過ぎる。時間。先日、「タイムマネジメント(時間管理)」のセミナーへ参加しました。「一日の仕事の中で25%は突発業務が発生する。それを予定して一日の計画を立てると、帰る間際になって慌てなくて済む」ということらしい。ところで、食べてる間は時間が止まって感じるのは私だけ(笑)。幼稚園の頃からずっと健康優良児の私は、「タイムマシン」に乗ってどんなに時間をさかのぼっても、痩せてた頃の自分に出会えそうにありません。(中尾)

